

第2回 八代市総合計画策定審議会会議録

開催日時 平成18年10月25日(水) 午前10時~午前12時10分

開催場所 八代市役所5階 大会議室

出席者

策定審議員

会 長	宮川 英明	委 員	杉田 金義	委 員	高嶋一二三
副会長	小寺ヤエ子	〃	宮川 政義	〃	米田 常男
委 員	百原 敏弥	〃	西嶋 真弓		
〃	野田 洋	〃	澤田 雄市		
〃	櫻井 憲吾	〃	小松 八郎		
〃	紫垣 利光	〃	坂本 哲朗		
〃	浜田 哲治	〃	田川 維善		(委員16名)

地域審議会代表

地 域	氏 名	地 域	氏 名	地 域	氏 名
八 代	一川 誠一	千 丁	米田 實	東 陽	山本 義孝
坂 本	岩本 卓治	鏡	猿渡 光次	泉	谷口 清和

関係機関アドバイザー

役 職	氏 名
国土交通省九州地方整備局 熊本港湾・空港事務所 所長	(代理)八代港事務所副所長 丸尾隆夫
国土交通省九州地方整備局 八代河川国道事務所 所長	(代理) 副所長 松本久親
熊本県八代地域振興局 局長	廣田 大作

資 料

- ・第2回八代市総合計画策定審議会 次第

添付資料

- ・総合計画状況策定資料
- ・総合計画体系図(案)

総合計画策定状況

今後の基本構想策定までの流れ

- 追加資料1 施策体系の検討方針について
- 追加資料2 総合計画のための地域別ワークショップ開催報告
(第1・2回目の速報結果)
- 追加資料3 八代市総合計画市民アンケート集計
- 追加資料4 八代市総合計画中学生アンケートの結果

公開状況 公開
傍聴者数 0名
議事録

【会議内容】

1. 開 会
 2. 会長あいさつ
 3. 議題
- (1) 八代市総合計画基本構想(案)について
(2) 八代市総合計画の策定状況について
(3) 今後の基本構想策定までの流れについて
(4) その他

【発言要旨】

- (事務局) 議事順の変更について説明。
(事務局) 市民意見の集約状況とその結果について説明。

会 長	(あいさつ) 前は策定基本方針の説明を受けた。事務局で作業中の市民アンケート調査、地域別ワークショップの結果を総合計画にどう活かすのかしっかり見ていく必要がある。
委 員	アンケートに関する感想として、日常の会話のなかで話し合われていること、特に若い人からの意見として、いつも子育て支援や雇用の場に関することが話題になっている。これがアンケートでよく表れている。日常的に思っていることが抽出されている。
委 員	私は市民ではないが、かつて調査で八代によく関わっていた。 専門は都市計画まちづくりである。大合併によって人口は少し増えただけだが、面積はとて大きくなった。全国上位20に入るのではないかと。 まず、総合計画を策定するわけだが、基本構想は漠とした計画であるが、基本計画、実施計画になると具体的になる。安全安心を確保するため、例えば、危険地域には住まないようにすることもある。 ワークショップの整理軸にはハード、ソフトの軸があるようだが、別の軸も考えられる。三次元のマトリックスでの分析も考えられる。前進する八代を期待したい。 1市2町3村の合併は結婚みたいなもので、かつてイギリスでもニュータウン構想は、都市と農村の結婚といわれた。そのゆわいつける、結びつける姿が今の八代では見えにくい。地域審議会の役割もそういう要望をあげることであり、この審議会でも重要な役割でもある。総合計画は大方針であり、市民意向を踏まえたものにする必要がある。
会 長	市民意向も、網羅するだけでなく、先取りしたり、地域でカバーすること、全体でカバーすることの区分などが必要。
事務局	今回は現状分析であるが、今後計画策定において的確に対応する。八代の地域特性をどう計画に盛り込んでいくのかは重要。このため地域の現状から「強み」「弱み」を適切に整理することが必要で、基本構想から基本計画、実施計画に反映していきたい。合併によって市域が160から670km ² に拡大し、中山間から平野海岸まで多様なため6地域の審議会を立ち上げた。
アドバイザー	印象的なものとして申し上げれば、単身赴任2年目であるが、八代はたいへん住みよいと思う。アンケートを計画にどう盛り込むか、感覚的な設問が多く、どう行動するかが見えにくい。例えば、中心市街地が話題になっているが、アンケートでは、ほかの調査も合わせて、具体的な方向性が見えるような提案までなされていければ望ましい。

アドバイザー	八代高出身であるが40年前の人口は10万人、今旧市で2万人しか増えていない。人口が定着していない。 産業が停滞していたのが原因と思われる。現在、基山町けやき台に居住して、単身赴任12年であり、外からの目で観察できる。鳥栖市の弥生台の開発などすさまじい勢いで開発されている。人口増は、スーパーができる、利便性が上がる、住民税が確保できるなどメリットが大きい。鳥栖・基山の開発は計画があったから実現してきている。都市計画を作って活性化していく必要がある。30年ぶりに帰ってきて2万人の増は大変残念。
アドバイザー	八代は県下第一の都市、熊本市にも近い、港湾もある。発展の機会は多くある。
地域審議会委員	道州制が話題になっている。新たな合併の動きもあるのでは。現状についてお聞かせ願えれば。
事務局	道州制は、その方向性が望ましいといわれている。知事会、市長会でも推進方向であるが、具体的な動きはまだよく見えない。国は今後も合併推進の方向であるが、この10年でどうなるかは分からない。
事務局	計画策定は、国・県の上位計画に影響される。平成19年に国土形成計画を国は策定(骨子)。市の総合計画もこれを踏まえながら策定したい。このような動向に関する情報も提供する。
地域審議会委員	私自身も農業を行っている。ワークショップ2回目までの結果でも、1次産業の低迷が問題とされている。 一次産業の活性化が重要で、しっかりした取り組みが必要。
地域審議会委員	(アンケートの)問題の出し方が、この八代をどう変えていきたいのかがよく見えない。八代の観光がどう位置付けられているのかが疑問である。新幹線観光はあるかもしれないが、九州では阿蘇、熊本、天草が一本のルートでつながった。八代はこれからはずれている。
事務局	(2)八代市総合計画の策定状況について *PP使用して説明。 《 休憩 》 *コピー配布し、資料に沿って説明
委員	四つの抛り・実り・誇り・躍りは、なじみがなかなかうすい。初めてこの言葉に接したときも、自分なりに意味を砕いてやっと理解できた印象を覚えている。 新市建設計画を基本として、言葉にとらわれずに、市民に分かり易い言葉、形で表現するのが良い。これらの四つの言葉が馴染んでいるのなら別だが。新市建設計画が策定され、年月がどれくらいたっているか。
事務局	新市建設計画策定の約2年程度である。市民・行政に分かりやすい計画とするためにという方針からみてこの目標では、齟齬があると思う。
会長	このため、新市建設計画の体系を新しく組み立てる、施策体系も組み直しを図っているというのが事務局から説明があった。
地域審議会委員	(新市建設計画の)体系図は網羅されて多すぎて分かりにくい。全て細部まで出すのではなく、市民に分かりやすいように絞って、簡潔に、重点的にこれを実行していくという方向が見えるようにすべきではないか。
事務局	今回提示した施策の体系は、新市建設計画の体系図を基に整理したもので、基本計画の部分もふくまれている。総合計画の基本構想はもっと分かりやすくつくる。 次回にその案を示したい。
地域審議会委員	合併協から参加して、初めて4つをみたときはとまどいもあったが、だんだん慣れてきた。 これをもって合併したので申し添えとして意見を言うておく。
アドバイザー	行政が策定すると、施策に漏れがあってはいけないということで網羅的になるけど、重点的に取り組むのはこれという出し方は必要。分野別、地域別に、主なものを誰がいつまでにやるというのが分かりやすい。
委員	文章だけでなく、データを一緒に出して欲しい。数字や分布図も必要。

会 長	<p>今後は、分かり易く、重点的、また地域別といったように、どこに力を入れるのか分かるような計画の策定をお願いします。</p> <p>また策定にあたっては根拠となる数値、データについてお示ししていただきたい。今後はより具体的な案となってくると思われるので、事務局には委員の意見や市民意見の反映に努めていただきたい。</p>
事務局	(3) 今後の基本構想策定までの流れについて
	委員意見無し
事務局	<p>今回の総合計画が新市建設計画を基に策定するという点、またその総合計画という性格上、市の実施する施策を全て盛り込むように策定することから網羅された形にならないを得ないわけですが、委員のみなさんからご指摘いただきましたように市が重点的に行う施策や課題解決のためにより具体的な施策を表現すべき、そしてそのための調査もしっかりやるように、ということ。また重点的かつ簡略的にということ。これらを反映するような方向で今後の作業を進めて参りたい。この総合計画は地域審議会にも提案しご意見をいただくようになっている。合併時の新市建設計画との整合性や地域別の計画方針などについては、そちらでもご審議いただけたらと思う。総合計画策定審議会委員の皆様方からは市全体として何を目標とし、どうやって実現させて行くかと言う点についてご示唆いただきたい。次回以降も熱心なご審議をお願いいたします。</p>
事務局	(4) その他 次回開催日程について説明
閉 会	